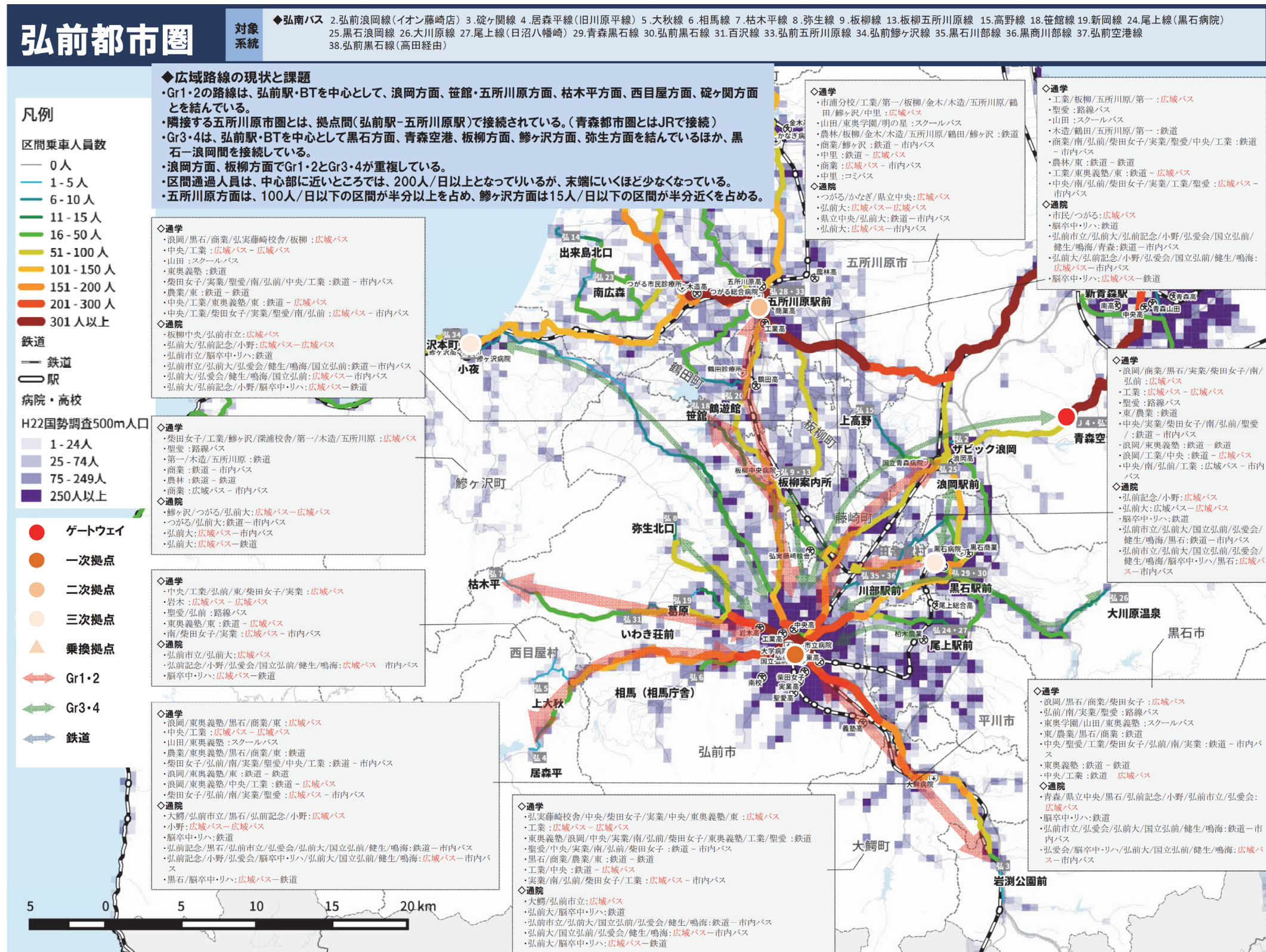


②弘前都市圏（中南圏域）

◆現状や課題

- 1) 交通ネットワーク：弘前駅（一次拠点）より放射状の広域バスネットワークが形成されている。弘南鉄道やJ Rと広域バス路線の並走区間があるがどちらも一定の利用がある。
- 2) 利用のしやすさ：都市圏内から弘前市内の高校や大学病院に行く場合は、弘前駅やバスターミナルで鉄道や広域路線バスから、広域路線バスや市内路線バスを乗継ぐ必要がある。
- 3) 維持・持続性：津軽平野が広がり集落が点在しているため、郊外部で広域バスネットワークの集約化が難しい。

現況図





◇今後の方向

- 1) 交通ネットワーク：弘南鉄道やJRと広域バス路線の並走区間があるため、鉄道・バスそれぞれの比較優位性を把握し、機能・役割分担を明確にしていく。
- 2) 利用のしやすさ：圏域住民の圏域移動に配慮し、バスターミナルを含む弘前駅（一次拠点）における鉄道と広域路線バス・市内路線バス間のダイヤ調整などで接続性の向上を図る。
- 3) 維持・持続性：郊外部の住民も含めた公共交通の利用促進に加え、利用者が限られ、地形的要因から統廃合が難しい路線については、一層の利用促進と効率化の検討をおこなっていく。

※弘前都市圏の地域公共交通網の形成にあたっては弘前市地域公共交通網形成計画との整合・連携を図る。

拠点および基幹ネットワーク図

